

みぬまた みずべ しぜん 3. 見沼田んぼの水辺と自然

Point

首都近郊の広大な緑地空間見沼田んぼは、約300年前に（井沢弥惣兵衛）という人が中心になり、（見沼代用水）という用水路をつくり、田を開きました。用水路によって（利根川）から取り入れた水は、江戸までつながることになりました。用水路完成後、米のとれる量は増え、人々の生活は豊かになりました。

むかし 昔たくさんいたサギが少なくなりました原因は何かな？



A. (例) 農薬使用によるエサ(ドジョウや昆虫)の減少、餌場となる水田の減少 など



しゅとけん 首都圏の貴重な緑地空間、見沼田んぼには現在どんな生き物がいるかな？

見沼田んぼにいる生き物

A. (例) コイ、ドジョウ、メダカ、カエル、バッタ、カルガモ など

Point

2020年9月、見沼田んぼ内の芝川第1調節池で国の特別天然記念物コウノトリが3羽やって来ました。魚やカエル、昆虫などをたくさん食べる大きな鳥の飛来は、見沼田んぼに豊かな自然が残っているためと考えられます。



なぜコウノトリが飛来するようになったのかな？

A. (例) コウノトリのエサとなる生き物がたくさんいるため。 など

生き物が住みやすい水辺と自然を守るために できるか考えてみてね。



家庭からの排水が水を汚す原因の一つのため、水を汚さないよう意識して生活する。

(例) 洗剤の使用は適量を心掛け、使いすぎないようにする。

A. (例) 油やみそ汁等を直接流しに捨てない。 など